



博覧会 時代の

リニューアルオープン
5周年記念展

世界を舞台に
美術で競う！

“Exposition Era.”

2025年 3月8日[土] — 8月18日[月]

第Ⅰ部：3月8日[土] — 4月28日[月]

第Ⅱ部：5月3日[土・祝] — 6月23日[月]

第Ⅲ部：6月28日[土] — 8月18日[月]

開館時間＝10:00-17:00（入館は16:30まで）休館日＝火・水曜日【入館無料】

※4月29日[火・祝]～5月2日[金]、6月24日[火]～6月27日[金]は展示替のため休館 ※会期は変更となる場合がございます

会場＝高島屋史料館 企画展示室

CLASSE 84.

高島屋史料館

Takashimaya Archives



Takashimaya



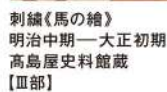
博覧会 (Exposition) は、種々の物品・資料を集めて展示し、改良進歩と販路拡大を目的に一般に公開される催しです。万国博覧会 (Universal Exposition) は、世界各国が参加する博覧会で、最初の万博は1851年、イギリスのロンドンで開催されました。万博では、参加国の科学や産業、美術や工芸が展示され、優秀と認められたものには各賞が授与されました。各国が自国の最新技術や芸術を競い合った19世紀後半は、「博覧会の時代」と呼ばれます。

日本が国家として万博へ正式参加したのは1873年、オーストリアのウィーン万博でした。工業が未発達であった日本は、職人が技巧を尽した陶磁器や漆器、金工や七宝、染織などの手工芸品を出品しました。それらはヨーロッパでジャポニスム(日本趣味)の流行を巻き起こすことになりました。

一方、日本国内でも、政府主導の内国勸業博覧会をはじめ、各地で博覧会が開催されていました。当時、京都の呉服商であった高島屋が国内外の博覧会へ積極的に染織品を出品し受賞を重ねたことはあまり知られていません。けれども、万博への参加は「世界と美術で競うことである」と、高島屋が万博へ送り出した作品の数々は「美術染織品」と称され、その精緻さ・美しさは世界中で高く評価されたのです。それは、日本が育んできた文化・芸術の粋を世界に知らしめることでもありました。

本展では、高島屋が「博覧会の時代」に製作した刺繍やビロード友禅作品を一堂に集め展覧いたします。世界を魅了した、比類なき手仕事をご堪能いただければ幸いです。

※本展は会期をⅠ・Ⅱ・Ⅲ部に分け、展示作品をすべて入れ替えて構成します。



イベントのご案内 ※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。
①②いずれも参加無料。要申込み、抽選制です。当館ホームページよりお申込みください。

① 講演会「万博と刺繍—麗しき刺繍絵画の世界」 要申込み・抽選制

■講師＝松原 史氏(北野天満宮北野文化研究所室長)

■4月13日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

②講演会「博覧会と高島屋—世界を舞台に美術で競う!」 要申込み・抽選制

■講師＝高井多佳子(高島屋史料館 研究員)

■6月8日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

学芸員による企画展ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日14:00～(約30分) ※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

【併催】特集展示「タカシマヤ文化基金35周年」

高島屋は、1990(平成2)年に公益信託タカシマヤ文化基金を設立、新鋭作家や美術文化の保存・発掘・振興に寄与する団体などへの助成を行っています。当館が所蔵するタカシマヤ美術賞受賞者による作品をご紹介します。

学芸員による特集展示ギャラリートーク ※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

■7月6日[日] 13:00~(約50分) ■会場=アーカイブス展示室

【アクセス】

南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、
近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住 所】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25

高島屋東別館3階

TEL. 06-6632-9102

<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

